

第1期末（2025年8月25日）

基準価額	8,893円
純資産総額	116百万円
騰落率	△11.1%
分配金	0円

ニッセイ・インド 中小型株式ファンド

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2024年12月27日～2025年8月25日

第1期（決算日 2025年8月25日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・インド中小型株式ファンド」は、このたび第1期の決算を行いました。

当ファンドは、「RAMS・インベストメント・ユニット・トラストーニッポン・インディア・スモール・アンド・ミッドキャップ・エクイティーズ・ポートフォリオ・ファンド」への投資を通じて、インドの中小型株式等（DR（預託証券）を含みます）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

（9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



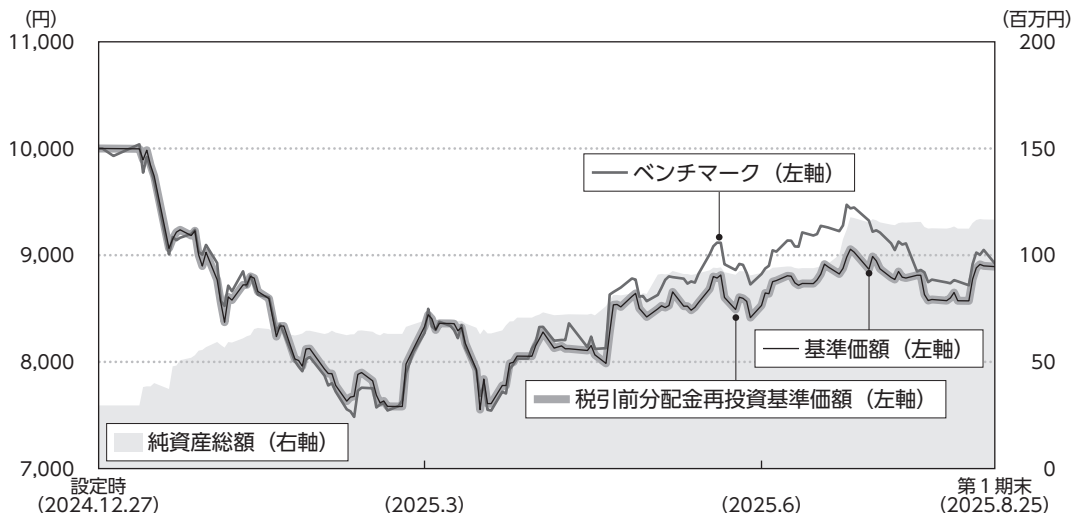
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2024年12月27日～2025年8月25日

基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第1期末	8,893円	騰落率 (分配金再投資ベース)	△11.1%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークはMSCIインド・スモール・アンド・ミッドキャップ・インデックス（配当込み、円ベース）で、設定時を10,000として指数化しています。なおベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・3月中旬から下旬にかけて、インド債券市場への外国人投資家の資金流入などから、インド・ルピー高円安となったこと
- ・4月中旬から6月下旬にかけて、インド準備銀行（RBI：中央銀行）による政策金利引き下げやインド国内のインフレ鈍化を受けたさらなる利下げ期待、大手金融機関の好業績発表などから、インド株式市場が上昇したこと

<下落要因>

- ・期初から2025年2月下旬にかけて、インド国内の経済成長見通しの下方修正や国内企業の業績低調、トランプ米大統領による相互関税政策への警戒感などにより、インド株式市場が下落したこと、およびRBIの金融緩和期待や日銀の利上げへの警戒感などから、インド・ルピー安円高となったこと
- ・4月上旬から中旬にかけて、米相互関税政策の発表を受けて、貿易戦争激化との見方から投資家のリスク回避的な動きが強まり、インド・ルピー安円高となったこと

1 万口当たりの費用明細

項目	第 1 期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	64円	0.747%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,512円です。
(投信会社)	(19)	(0.219)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(43)	(0.510)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.018)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.007	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(1)	(0.007)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	64	0.755	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

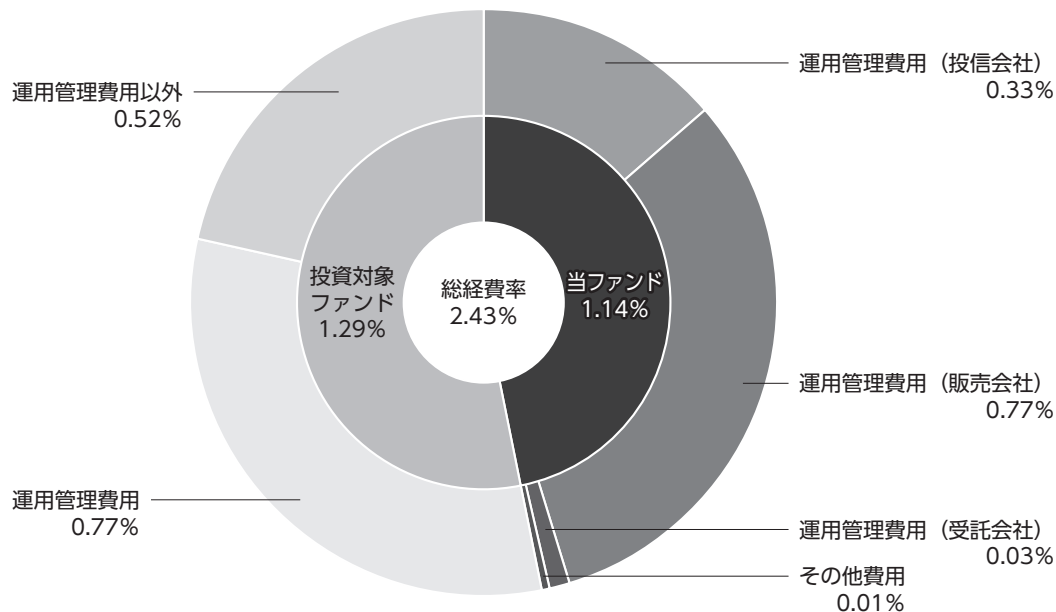
(注 3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入しています。

(注 4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

(参考情報)

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.43%**です。



総経費率（①+②+③）	2.43%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.77%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.52%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

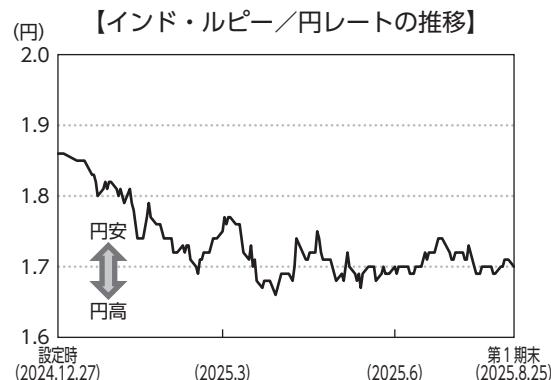
■インド株式市況



インド株式市場は、期を通じて見ると下落しました。

期初から2025年2月下旬にかけては、インド国内の経済成長見通しの下方修正や国内企業の業績低調、トランプ米大統領による相互関税政策への警戒感などからインド株式市場は下落しました。その後、インド国内のインフレ鈍化などから上昇しましたが、4月上旬には米相互関税政策の発表を受けて、貿易戦争激化との見方から投資家のリスク回避的な動きが強まり、下落に転じました。4月中旬から6月下旬にかけては、RBIによる政策金利引き下げやインド国内のインフレ鈍化を受けたさらなる利下げ期待、大手金融機関の好業績発表などから上昇しました。7月中旬から当期末にかけては、米国との貿易協議の遅れやIT（情報技術）サービス企業の低調な業績発表などにより、インド株式市場は下落しました。

■為替市況



インド・ルピー／円レートは期を通じて見るとインド・ルピー安円高となりました。

期初から2025年3月上旬にかけては、RBIの金融緩和期待や日銀の利上げへの警戒感などから、インド・ルピー安円高が進行しました。3月中旬から下旬にかけては、インド債券市場への外国人投資家の資金流入などから、インド・ルピー高円安となりました。しかし、4月上旬から中旬にかけては、米相互関税政策の発表を受けて、貿易戦争激化との見方から投資家のリスク回避的な動きが強まり、インド・ルピー安円高に転じました。4月下旬から5月上旬にかけては、インド・米国の早期貿易協定締結への期待感の高まりなどから、インド・ルピー高円安となりました。その後、当期末にかけては、インド・米国の貿易協議の遅れや地政学リスクなどから、インド・ルピー安円高に転じました。

ポートフォリオ

■当ファンド

「RAMS・インベストメント・ユニット・トラストーニッポン・インド・スモール・アンド・ミッドキャップ・エクイティーズ・ポートフォリオ・ファンド」への投資を通じて、インドの中小型株式等（DRを含みます）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■RAMS・インベストメント・ユニット・トラストーニッポン・インド・スモール・アンド・ミッドキャップ・エクイティーズ・ポートフォリオ・ファンド

*ニッポンライフ・インド・アセットマネジメントの資料（現地における当期末の前営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

インドの中小型株式等を主要投資対象とし、信託財産の成長をめざしました。

当期末時点におけるサイズ別組入比率については、大型株（21.9%）、中小型株（78.1%）としており、業種配分については、組入比率の高い順に、金融（20.0%）、資本財・サービス（18.6%）、一般消費財・サービス（17.0%）としています。

（注1）サイズはインド投資信託協会基準、業種はGICS分類（セクター）によるものです。なおGICSに関する知的財産所有権は、S & PおよびMSCI Inc.に帰属します。以下同じです。

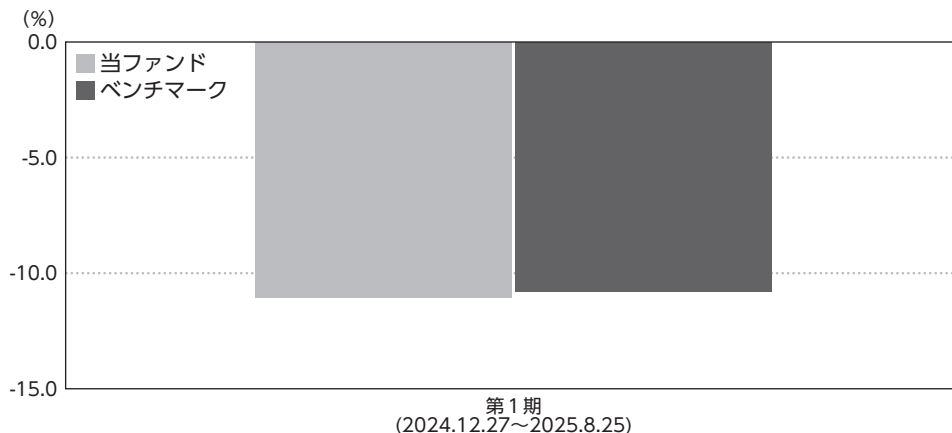
（注2）比率は対組入株式等評価額比です。

*ベンチマークはMSCIインド・スモール・アンド・ミッドキャップ・インデックス（配当込み、円ベース）です。ベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異



当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は－11.1％となり、ベンチマーク騰落率（－10.8％）を下回りました。

これは主に当ファンドにおける信託報酬によるものです。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2024年12月27日～2025年8月25日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	－

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も「RAMS・インベストメント・ユニット・トラストーニッポン・インディア・スモール・アンド・ミッドキャップ・エクイティーズ・ポートフォリオ・ファンド」への投資を通じて、インドの中小型株式等（DRを含みます）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■RAMS・インベストメント・ユニット・トラストーニッポン・インディア・スモール・アンド・ミッドキャップ・エクイティーズ・ポートフォリオ・ファンド

トランプ米大統領はインドに対して、従来の25%の相互関税に加え、インドがロシア産原油を輸入していることへの制裁として25%、合計50%の関税を課すことを決定しました。これは他のアジア諸国の関税率を大きく上回る状況です。現状ではインドの対米財輸出は国内総生産（GDP）の約2%に相当する程度で、経済への実質的な影響はそれほど大きくはないと見込まれるものの、海外からの資金流入抑制などを通じてインドの金融市場にとって重荷となる可能性があります。一方で、モディ首相は物品サービス税（GST）の合理化を発表しました。GSTの現行4つの税率区分（5%、12%、18%、28%）を段階的に2つの税率区分（5%、18%）に集約するとともに、一部の嗜好（しこう）品やぜいたく品には40%の税率を適用する意向を表明しています。実施はヒンズー教の新年のお祝いであるディワリの時期（10月下旬）からの予定で、現状の主な試算によると、景気刺激効果はGDP比で約1%に相当し、低価格帯カテゴリーの税率引き下げに重点が置かれているとみられます。インフレの観点からみると、今回のGST改革はインフレ圧力の緩和につながるものとみられます。また、インドは追加関税の影響を緩和するために、さらに的を絞った輸出支援策（関税還付の拡充、金利負担の軽減支援、信用枠供与）の実施や、輸出先の多様化推進を積極的に進める見込みで、インドは米国との関係変化に対する対応を進めている状況です。インドは戦略的自主性を保ちながら、多極的連携を図る外交政策へとシフトする可能性が高いとみられています。中長期的には、経済成長と財政安定のバランスが取られたモディ政権3期目の経済・財政政策や、インドの製造業の高度化やグローバルバリューチェーン（製品・サービスを市場に持ってくる上で不可欠な、国境を越えた活動および調達）への統合推進など供給側の改革などから、インドの経済ファンダメンタルズ（基礎的条件）が堅調であることに変わりはないと判断していますが、当面は注意が必要と考えています。

世界的に政治情勢が不透明な様相は継続しており、金融市場では神経質な展開が予想され、かじ取りの難しい外部環境が続いています。引き続き金融市場におけるセンチメント（市場心理）の振れ幅が大きくなりやすいことが予想され、過度な楽観には特に注意が必要と判断しており、株式のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）に留意しつつ、個々の企業業績を中心としたファンダメンタルズに着目した物色やセクターローテーション（景気の局面ごとに有望な業種別銘柄群に投資対象を切り替えていく戦略）の激しい動きが続く可能性が想定されます。

引き続きインド株式への投資の観点においては、世界経済をけん引できる経済のファンダメンタルズがインドにあることを重視すべきだと考えています。インド経済の力強い原動力は、人口動態・大量消費市場の拡大・金融サービス市場の近代化・豊富なIT活用の土壌にあります。特に今の環境下でそれを支える重要なITやヘルスケアの土台がインドにはあり、それがモディ首相の全方位での経済外交推進や地道な経済改革姿勢、継続的な銀行・税制改革、インフラ整備の加速などから軌道に乗ってきており、中長期的にインドへの資金流入が見込まれるというメインシナリオを維持したいと考えています。

インドの中小型株式市場には高成長が期待される銘柄が数多く存在するものの玉石混交であり、良好なリターンを期待するには現地での徹底した調査・分析に基づく銘柄選定が欠かせません。当ファンドではインド最大級の資産運用会社「ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメント」の豊富な経験と実績を有する運用チームが独自の着眼点をもって投資銘柄を選定します。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■組入ファンド

	第1期末 2025年8月25日
RAMS・インベストメント・ユニット・トラスト ニッポン・インディア・スモール・アンド・ミッド キャップ・エクイティーズ・ポートフォリオ・ファンド	98.7%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

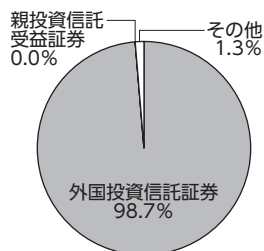
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

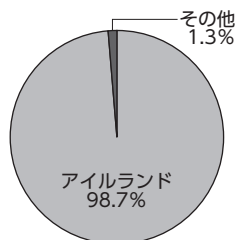
項目	第1期末 2025年8月25日
純資産総額	116,649,132円
受益権総口数	131,172,472口
1万口当たり基準価額	8,893円

(注) 当期間中における追加設定元本額は101,575,664円、同解約元本額は0円です。

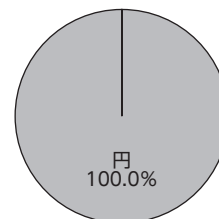
■資産別配分



■国別配分



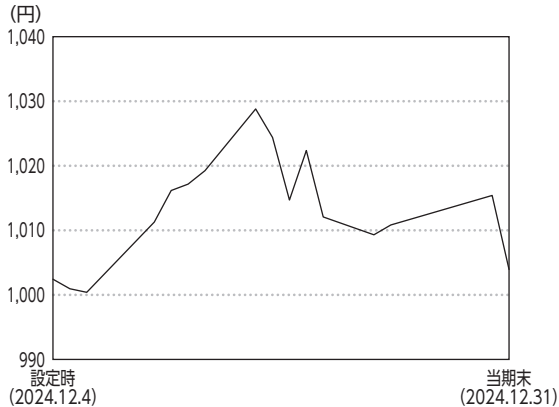
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2025年8月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

RAMS・インベストメント・ユニット・トラストーニッポン・インディア・スモール・アンド・ミッドキャップ・エクイティーズ・ポートフォリオ・ファンドの概要

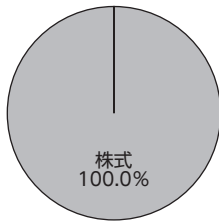
■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



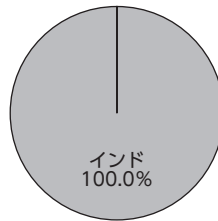
■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
PG ELECTROPLAST LTD	インド・ルピー	3.5%
AJANTA PHARMA LTD	インド・ルピー	2.6
CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND FINANCE CO LTD	インド・ルピー	2.4
FORTIS HEALTHCARE LTD	インド・ルピー	2.4
GUJARAT FLUOROchemicals LTD	インド・ルピー	2.3
ICICI LOMBARD GENERAL INSURANCE CO LTD	インド・ルピー	2.3
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	インド・ルピー	2.3
POWER FINANCE CORPORATION LTD	インド・ルピー	2.2
VOLTAS LTD	インド・ルピー	2.2
DEEPAK NITRITE LTD	インド・ルピー	2.2
組入銘柄数	59	

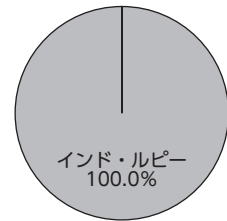
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものです。

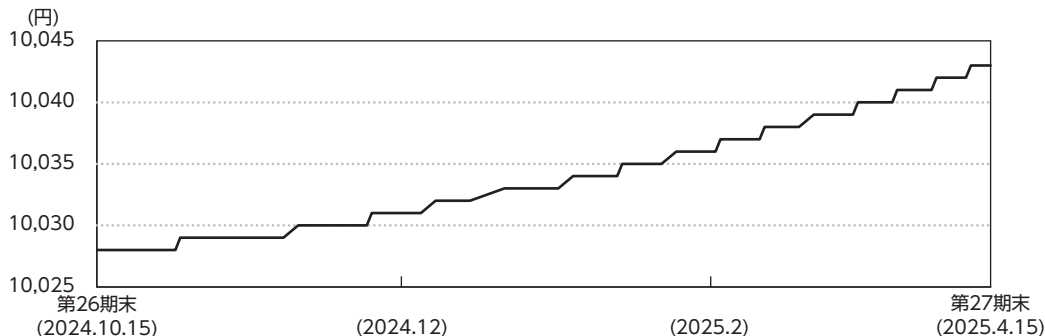
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2024年12月31日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券の組入株式等に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッポンライフ・インディア・アセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 1万口当たりの費用明細につきましては、入手が困難であるため記載していません。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照下さい。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■基準価額の推移



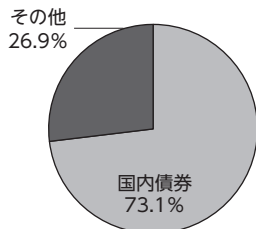
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
第752回 東京都公募公債	円	9.9%
平成27年度第13回 京都府公募公債	円	8.9
第146回 共同発行市場公募地方債	円	8.7
令和2年度第10回 北海道公募公債（5年）	円	8.7
第74回 政保地方公共団体金融機構債券	円	6.6
第148回 共同発行市場公募地方債	円	5.0
令和2年度第3回 仙台市公募公債（5年）	円	4.5
第748回 東京都公募公債	円	4.3
第147回 共同発行市場公募地方債	円	4.3
平成27年度第3回 千葉県公募公債	円	4.3
組入銘柄数	12	

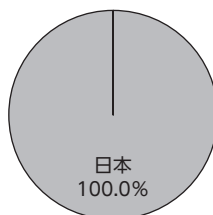
■1万口当たりの費用明細

当期（2024年10月16日～2025年4月15日）における費用はありません。

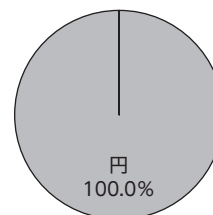
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2025年4月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	ベンチマーク	期中 騰落率	RAMS・インベスト メント・ユニット・ トラスト・ニッポン・ インディア・スモール・ アンド・ミッドキャップ・ エクイティーズ・ ポートフォリオ・ファンド	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2024年12月27日	円 10,000	円 -	% -	円 10,000	10,000	% -	% -	% -	百万円 29
1期 (2025年8月25日)	8,893	0	△11.1	8,893	8,923	△10.8	98.7	0.0	116

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注6) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	ベンチマーク	騰落率	RAMS・インベストメント・ ユニット・トラスト・ニッポン・ インディア・スモール・アンド・ ミッドキャップ・エクイティーズ・ ポートフォリオ・ファンド	債券 組入比率
(設定日) 2024年12月27日	円 10,000	% -	10,000	% -	% -	% -
12月末	9,999	△ 0.0	9,930	△ 0.7	-	0.0
2025年 1 月末	8,579	△14.2	8,662	△13.4	96.8	0.0
2 月末	7,780	△22.2	7,722	△22.8	96.9	0.0
3 月末	8,360	△16.4	8,338	△16.6	98.9	0.0
4 月末	8,150	△18.5	8,205	△17.9	98.8	0.0
5 月末	8,656	△13.4	8,794	△12.1	98.9	0.0
6 月末	8,807	△11.9	9,138	△ 8.6	99.0	0.0
7 月末	8,794	△12.1	9,100	△ 9.0	97.7	0.0
(期末) 2025年 8 月25日	8,893	△11.1	8,923	△10.8	98.7	0.0

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は設定日比です。

売買および取引の状況

2024年12月27日～2025年 8月25日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
RAMS・インベストメント・ユニット・トラストーニッポン・インディア・スモール・アンド・ミッドキャップ・エクイティーズ・ポートフォリオ・ファンド	千口 127	千円 117,410	千口 0.365	千円 280

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、口数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千円 10	千口 －	千円 －

利害関係人との取引状況等

2024年12月27日～2025年 8月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2025年8月25日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
RAMS・インベストメント・ユニット・トラストーニッポン・インド・スモール・アンド・ミッドキャップ・エクイティーズ・ポートフォリオ・ファンド	千口 126	千円 115,103	% 98.7
合計	126	115,103	98.7

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	当期末	
	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千円 10

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は2,038,314千口です。

投資信託財産の構成

2025年8月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
RAMS・インベストメント・ユニット・トラストーニッポン・インド・スモール・アンド・ミッドキャップ・エクイティーズ・ポートフォリオ・ファンド	千円 115,103	% 98.5
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	1,738	1.5
投資信託財産総額	116,851	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年8月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	116,851,951円
コール・ローン等	1,738,065
RAMS・インベストメント・ ユニット・トラスト・ニッポン・ インディア・スモール・アンド・ ミッドキャップ・エクイティーズ・ ポートフォリオ・ファンド(評価額)	115,103,856
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	10,030
(B) 負債	202,819
未払信託報酬	200,892
その他未払費用	1,927
(C) 純資産総額(A-B)	116,649,132
元本	131,172,472
次期繰越損益金	△ 14,523,340
(D) 受益権総口数	131,172,472口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,893円

(注1) 設定元本額 29,596,808円
期中追加設定元本額 101,575,664円
期中一部解約元本額 -円

(注2) 元本の欠損
純資産総額は元本額を下回っており、その差額は
14,523,340円です。

損益の状況

当期 (2024年12月27日～2025年8月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	10,028円
受取利息	10,028
(B) 有価証券売買損益	△ 2,026,114
売買益	30
売買損	△ 2,026,144
(C) 信託報酬等	△ 583,873
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,599,959
(E) 追加信託差損益金*	△ 11,923,381
(売買損益相当額)	(△ 11,923,381)
(F) 合計(D+E)	△ 14,523,340
次期繰越損益金(F)	△ 14,523,340
追加信託差損益金	△ 11,923,381
(売買損益相当額)	(△ 11,923,381)
繰越欠損金	△ 2,599,959

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。設定時の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	0円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額(a+b+c+d)	0円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	0.00円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

お知らせ

■運用報告書の電子交付について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献につながるものと捉えています。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供も進めていきます。

(2025年4月1日)

■約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式		
信 託 期 間	2024年12月27日～2045年8月23日		
運 用 方 針	外国投資信託証券への投資を通じて、インドの中小型株式等（D R（預託証券）を含みます）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。		
主要運用対象	ニッセイ・インド 中小型株式ファンド	「RAMS・インベストメント・ユニット・トラストーニッポン・インディア・スモール・アンド・ミッドキャップ・エクイティーズ・ポートフォリオ・ファンド」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	
	RAMS・インベストメント・ ユニット・トラストー ニッポン・インディア・ スモール・アンド・ ミッドキャップ・ エクイティーズ・ ポートフォリオ・ファンド	インドの中小型株式等（D Rを含みます）	
	ニッセイマネーマーケット マザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品	
運 用 方 法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。		
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。		

以下は「RAMS・インベストメント・ユニット・トラストーニッポン・インディア・スモール・アンド・ミッドキャップ・エクイティーズ・ポートフォリオ・ファンド」（アイルランド籍外国投資信託証券）の2024年12月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

(1) 損益計算書（2024年12月4日～2024年12月31日）

米ドル

収益	
投資純収益（損失）	(1,666,934)
外国為替純収益（損失）	(31,005)
収益合計	<u>(1,697,939)</u>
運営費用	
組成費用	258,121
手数料およびその他諸費用	121,215
投資運用報酬	56,583
監査費用	10,474
保管手数料	4,000
専門家報酬	3,809
管理者報酬	3,616
事務管理手数料	2,893
その他手数料および費用	43,756
運営費用合計	<u>504,467</u>
税引前利益（損失）	<u>(2,202,406)</u>
法人税等諸費用	(1,914)
当期純利益（損失）	<u>(2,204,320)</u>
受益者に帰属する営業活動による純資産増減額	<u>(2,204,320)</u>

(2) 投資有価証券明細表 (2024年12月31日現在)

Nippon India Small and Mid-Cap Equities Fund

Security Name	No of shares	Val of holding (INR mn)	Val of holding (JPY mn)	Weight
PG ELECTROPLAST LTD	143,061	140	258	3.5%
AJANTA PHARMA LTD	35,575	104	192	2.6%
CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND FINANCE CO LTD	81,400	97	177	2.4%
FORTIS HEALTHCARE LTD	134,000	96	177	2.4%
GUJARAT FLUOROCEMICALS LTD	22,160	92	170	2.3%
ICICI LOMBARD GENERAL INSURANCE CO LTD	51,400	92	169	2.3%
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	21,880	92	169	2.3%
POWER FINANCE CORP LTD	199,000	89	164	2.2%
VOLTAS LTD	49,500	89	163	2.2%
DEEPAK NITRITE LTD	35,500	89	163	2.2%
BRIGADE ENTERPRISES LTD	70,500	88	161	2.2%
APAR INDUSTRIES LTD	8,360	86	158	2.1%
APOLLO HOSPITALS ENTERPRISE LTD	11,800	86	158	2.1%
KAYNES TECHNOLOGY INDIA LTD	11,400	85	155	2.1%
JB CHEMICALS & PHARMACEUTICALS LTD	45,300	84	154	2.1%
JK CEMENT LTD	18,150	83	153	2.1%
INFO EDGE INDIA LTD	9,430	82	150	2.0%
SUPREME INDUSTRIES LTD	17,300	81	149	2.0%
MANKIND PHARMA LTD	27,950	81	148	2.0%
CG POWER & INDUSTRIAL SOLUTIONS LTD	109,091	79	146	2.0%
HINDUSTAN AERONAUTICS LTD	18,900	79	145	2.0%
MAX FINANCIAL SERVICES LTD	70,000	78	143	1.9%
EIH LTD	180,000	76	139	1.9%
INTERGLOBE AVIATION LTD	16,561	75	139	1.9%
ANGEL ONE LTD	25,200	74	136	1.8%
INOX WIND LTD	407,000	74	135	1.8%
UNO MINDA LTD	69,000	73	134	1.8%
ZOMATO LTD	255,000	71	130	1.8%
BIKAJI FOODS INTERNATIONAL LTD	89,000	69	127	1.7%
COFORGE LTD	7,000	68	124	1.7%
KIRLOSKAR OIL ENGINES LTD	63,500	65	120	1.6%
DIXON TECHNOLOGIES INDIA LTD	3,620	65	119	1.6%
BAJAJ AUTO LTD	7,000	62	113	1.5%
INDUSIND BANK LTD	64,000	61	113	1.5%
APEEJAY SURRENDRA PARK HOTELS LTD	332,000	61	112	1.5%
CROMPTON GREAVES CONSUMER ELECTRICALS LTD	153,000	61	111	1.5%
MULTI COMMODITY EXCHANGE OF INDIA LTD	9,500	59	109	1.5%
GLOBAL HEALTH LTD/INDIA	54,050	58	107	1.4%

Security Name	No of shares	Val of holding (INR mn)	Val of holding (JPY mn)	Weight
TATA POWER CO LTD/THE	145,000	57	105	1.4%
DEVYANI INTERNATIONAL LTD	310,000	57	104	1.4%
KIRLOSKAR BROTHERS LTD	27,180	56	103	1.4%
INDIAN HOTELS CO LTD/THE	63,000	55	102	1.4%
TEJAS NETWORKS LTD	46,500	55	101	1.4%
KALPATARU PROJECTS INTERNATIONAL LTD	40,762	53	97	1.3%
MAX ESTATES LTD	93,000	53	97	1.3%
VARUN BEVERAGES LTD	81,000	52	95	1.3%
MAX HEALTHCARE INSTITUTE LTD	45,700	52	95	1.3%
MEDPLUS HEALTH SERVICES LTD	62,000	52	95	1.3%
CONTAINER CORP OF INDIA LTD	62,879	50	91	1.2%
NLC INDIA LTD	190,258	47	87	1.2%
SONATA SOFTWARE LTD	78,500	47	86	1.2%
RADICO KHAITAN LTD	18,000	47	86	1.2%
CESC LTD	250,000	46	85	1.2%
EMUDHRA LTD	44,000	41	76	1.0%
DALMIA BHARAT LTD	23,200	41	75	1.0%
SIEMENS LTD	6,000	39	72	1.0%
SONA BLW PRECISION FORGINGS LTD	61,000	36	67	0.9%
NIIT LEARNING SYSTEMS LTD	64,187	29	53	0.7%
AWFIS SPACE SOLUTIONS LTD	34,000	24	45	0.6%

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 27 期

(計算期間：2024年10月16日～2025年4月15日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・ 外貨建資産への投資は行いません。



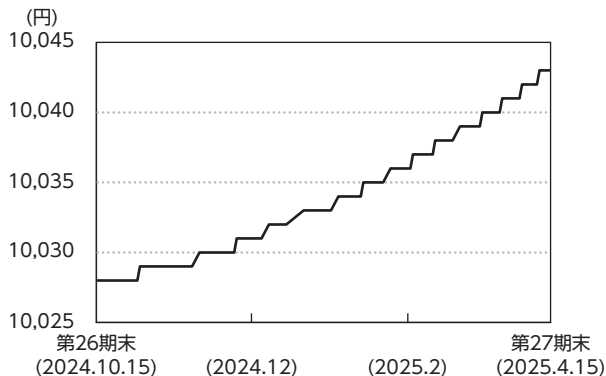
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2024年10月16日～2025年4月15日

基準価額等の推移



■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

お知らせ

■約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
23期 (2023年 4 月17日)	10,027	△0.0	89.9	706
24期 (2023年10月16日)	10,025	△0.0	82.1	720
25期 (2024年 4 月15日)	10,025	0.0	83.1	1,391
26期 (2024年10月15日)	10,028	0.0	92.2	1,375
27期 (2025年 4 月15日)	10,043	0.1	73.1	2,007

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2024年10月15日	10,028	—	92.2
10月末	10,028	0.0	64.8
11月末	10,030	0.0	72.4
12月末	10,032	0.0	63.2
2025年 1 月末	10,035	0.1	63.9
2 月末	10,038	0.1	70.1
3 月末	10,041	0.1	74.9
(期末)2025年 4 月15日	10,043	0.1	73.1

(注) 騰落率は期首比です。

1 万口当たりの費用明細

2024年10月16日～2025年4月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－％	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,034円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2024年10月16日～2025年4月15日

公社債

		買付額	売付額
国内		千円	千円
	地方債証券	986,087	－
	特殊債券	132,159	(750,000)
			－
			(167,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2024年10月16日～2025年4月15日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第752回 東京都公募公債	199,158	－	－
平成27年度第13回 京都府公募公債	178,963		
令和2年度第10回 北海道公募公債（5年）	174,336		
第74回 政保地方公共団体金融機構債券	132,159		
第148回 共同発行市場公募地方債	100,084		
令和2年度第3回 仙台市公募公債（5年）	89,443		
平成27年度第3回 千葉県公募公債	87,060		
平成27年度第1回 静岡市公募公債	86,953		
平成27年度第2回 兵庫県公募公債	70,087		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2025年4月15日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	額面金額	評価額	組入比率	当期末 うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	1,338,000 (1,338,000)	1,335,735 (1,335,735)	66.5 (66.5)	—	—	—	66.5 (66.5)
特殊債券 (除く金融債券)	132,000 (132,000)	132,060 (132,060)	6.6 (6.6)	—	—	—	6.6 (6.6)
合計	1,470,000 (1,470,000)	1,467,796 (1,467,796)	73.1 (73.1)	—	—	—	73.1 (73.1)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第748回 東京都公募公債	0.4560	2025/ 9 /19	87,000	87,052
	第752回 東京都公募公債	0.1260	2025/12/19	200,000	199,343
	令和2年度第10回 北海道公募公債(5年)	0.0200	2025/ 9 /25	175,000	174,635
	平成27年度第13回 京都府公募公債	0.1100	2026/ 3 /17	180,000	179,026
	平成27年度第2回 兵庫県公募公債	0.5010	2025/ 5 /28	70,000	70,018
	平成27年度第3回 千葉県公募公債	0.5240	2025/ 6 /25	87,000	87,020
	第146回 共同発行市場公募地方債	0.5530	2025/ 5 /23	175,000	175,070
	第147回 共同発行市場公募地方債	0.5480	2025/ 6 /25	87,000	87,052
	第148回 共同発行市場公募地方債	0.5530	2025/ 7 /25	100,000	100,040
	平成27年度第1回 静岡市公募公債	0.4760	2025/11/25	87,000	86,971
	令和2年度第3回 仙台市公募公債(5年)	0.0100	2026/ 1 /28	90,000	89,504
	小計	—	—	—	1,335,735
特殊債券 (除く金融債券)	第74回 政保地方公共団体金融機構債券	0.5570	2025/ 7 /15	132,000	132,060
	小計	—	—	—	132,060
	合計	—	—	—	1,467,796

投資信託財産の構成

2025年4月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	1,467,796	73.0
コール・ローン等、その他	542,989	27.0
投資信託財産総額	2,010,786	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年4月15日現在)

項目	当期末
(A)資産	2,010,786,094円
コール・ローン等	542,151,427
公社債(評価額)	1,467,796,793
未収利息	823,967
前払費用	13,907
(B)負債	3,320,717
未払解約金	3,320,717
(C)純資産総額(A-B)	2,007,465,377
元本	1,998,869,660
次期繰越損益金	8,595,717
(D)受益権総口数	1,998,869,660口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,043円

(注1) 期首元本額 1,371,321,507円
 期中追加設定元本額 824,689,511円
 期中一部解約元本額 197,141,358円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	49,895,238円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
J P X日経400アクティブ・オープンミドル投資型	9,976円
J P X日経400アクティブ・プレミアム・オープン(毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型)	9,974円
ニッセイAⅠ関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイAⅠ関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型)	9,968円
D Cニッセイターゲットデットファンド2025	1,948,615,369円
ニッセイ/コムジェスト新興国成長株ファンド(資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジェスト新興国成長株ファンド(年2回決算型)	9,969円
ニッセイAⅠ関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイAⅠ関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ/シュローダー・リターンCBファンド2023-02(為替ヘッジあり・固定割当)	9,974円
固定割当・繰上償還型ニッセイ世界リターン株式ファンド2023-07(為替ヘッジあり)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(資産成長型)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(毎月決算型)	9,975円
ニッセイS&P500リカバリー戦略株式ファンド	9,973円
ニッセイ・インド中小型株式ファンド	9,969円
ニッセイ・インド株式ファンド<購入・換金手数料なし>	9,964円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

損益の状況

当期(2024年10月16日～2025年4月15日)

項目	当期
(A)配当等収益	3,449,092円
受取利息	3,449,092
(B)有価証券売買損益	△ 749,387
売買取損益	625,985
売買取損	△ 1,375,372
(C)当期損益金(A+B)	2,699,705
(D)前期繰越損益金	3,838,122
(E)追加信託差損益金	2,733,220
(F)解約差損益金	△ 675,330
(G)合計(C+D+E+F)	8,595,717
次期繰越損益金(G)	8,595,717

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

指数に関して

■ファンドのベンチマーク等について

- ・MSCI インディア・スモール・アンド・ミッドキャップ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI インディア・スモール・アンド・ミッドキャップ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。